

企業向け 個人情報保護対策
実践アセスメントガイドについて

2005年3月23日

JEITA ソリューションサービス事業委員会
先進的ソリューションモデル専門委員会

今回の発表の概要

-  先進的ソリューションモデル専門委員会の活動
-  今年のテーマ
「情報漏洩対策ソリューションの導入拡大」のご紹介
-  アセスメントガイドの概略について
-  アセスメントガイドサンプルと想定事例
-  今後の取扱いについて

以下の3つの専門委員会を設置

■ SLA / SLM専門委員会

- ソリューションビジネス環境の確立

■ 先進的ソリューションモデル専門委員会

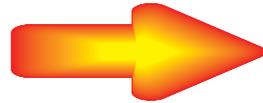
- ソリューションビジネスの新規市場構築可能性

■ ソリューションサービス標準化専門委員会

- 民間企業向けEA活用ガイドライン作成に関する調査

- いち早く取り組むべき業界テーマを見つけ、その普及ポイントと課題を整理した上で、**ソリューションの拡大につなげることを目的として活動**
- 2003年度の研究テーマは「先進技術の**ソリューション**ビジネスへのインパクトと**解決すべき課題**」
- 2004年度は、研究ターゲットを絞り込み「**情報漏洩対策ソリューションの導入拡大**」というテーマで活動

- 早期にソリューションを普及させ、IT経営能力を国際的にも高めることが重要
- 2005年度から本格的に始動する個人情報保護法を睨み、ソリューションビジネスを拡大



- 🔍 個人情報保護法の対策に的を絞る
- 🔍 慌しくルールの確立を急いでいるものの、日々の活動リスク低減への処置は後回し
- 🔍 この実態に対し、リスクをアセスメント

■ 1. はじめに

- 1.1 事例に見る情報漏洩の脅威
- 1.2 一般消費者の被害
- 1.3 消費者による個人情報保護の要望

■ 2. 基本的な個人情報保護の理解

- 2.1 どのようなものが個人情報か
- 2.2 個人情報保護として何をすべきか
- 2.3 個人情報保護の実施手順
- 2.4 経営への活用

■ 3. 個人情報保護対策の実践 アセスメントガイド

- 3.1 個人情報保護対策の観点からみた企業タイプ
- 3.2 アセスメントシートの使い方
- 3.3 アセスメントシート

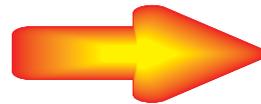
■ 4. おわりに

■ 参考資料

- 参考1. アセスメントシートの項目の根拠
- 参考2. 根拠とした個人情報保護のためのガイド

■ 現場の声（A自治体など）

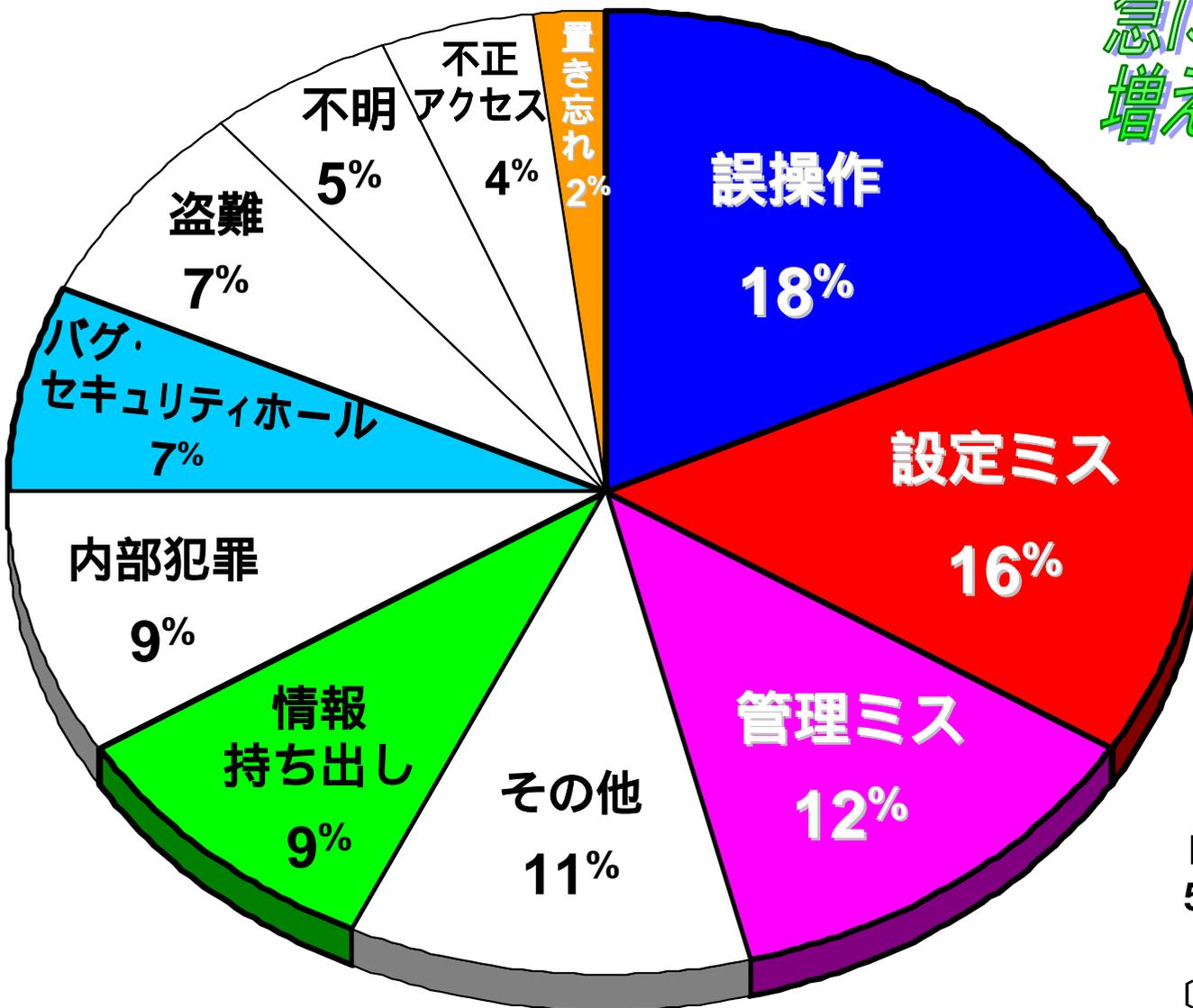
- ポリシーとソリューション間の激しいギャップ
- 体系化されない個別のソリューション導入では、何が残った弱点が不明確



🔍 個人情報保護のリスク対策について、事業規模を考慮したアセスメントを実施し、補強策のアクションをナビゲートするガイドを整備（全体フレームワーク、診断ツールなど）

漏洩事件の原因別分類

64%はウツカリミスによる



急に社内に悪人が
増えたわけでない!

N : 416

55%が年商100億円未満

[出典 : JNSA2004レポート]

ISMS

JIS Q 15001

保護対策の深度評価を
実施するためのガイド

個人情報

個人データ

保有個人データ

経済産業省
ガイドライン

厚生労働省指針

■ 5つのガイドラインを横断的にチェック項目へ反映

- 個人情報保護法
- 経済産業省ガイドライン
- 厚生労働省指針
- プライバシーマーク（JIS Q 15001）
- ISMS認証基準（Ver. 2.0）

■ 個人情報取扱企業のタイプ分けによる実践評価

- 取得保有企業（タイプA）
- 預託請負企業（タイプB）
- 一時取扱企業（タイプC）

■ 継続的取り組みを重視する評価

5つのガイドラインを踏襲する理由

- 個人情報保護法 基本法令
- 経済産業省ガイドライン 各省庁手本
- 厚生労働省指針 従業員情報
- プライバシーマーク(JIS Q15001) 監査事項
- ISMS認証基準(Ver.2.0) 情報システム

合計 = 137項目 (タイプCは86項目)

個人情報取扱い企業タイプ

取得保有企業（タイプA）

当社が、個人情報を取得し、個人データを保有し、5,001件以上の個人データを取り扱っている場合

従業員個人の 権利保護	顧客等個人の 権利保護
マネジメント システム	保有個人データの 安全保護

預託請負企業（タイプB）

当社が預託された5,001件以上の個人データを継続的に取り扱っている場合

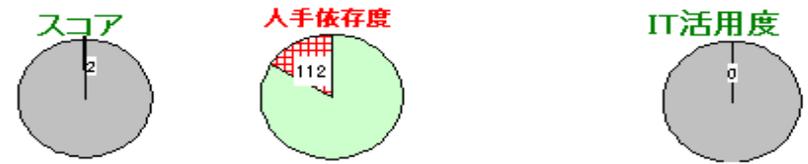
従業員個人の 権利保護	預託された 個人データの 安全保護
マネジメント システム	

一時取扱い企業（タイプC）

当社が継続的に取り扱う個人データは5,000件以下であるが、預託元が5,001件以上の個人データを継続的に取り扱っている場合

従業員個人の 権利保護	預託された 個人データの 安全保護
マネジメント システム	

セルフアセスメントシート(タイプC)



タイプC
 一時取り扱い企業用
 個人情報の一時預託を受けた
 小規模個人データ取り扱い企業

チェック項目

分類	項番	チェック項目	具体的内容	スコア	人手依存度	対策	対策例	IT活用度	対応レベル
経営者	1	動機付け	● 個人情報保護の必要性を認識しているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 法に従った個人情報保護の必要性を認識し、また発注元の要請への対応している。 小規模個人データ取り扱い企業においても、従業員の個人情報の保護が必要であると認識している。 		0	3
	2	経営者のリーダーシップ	● 個人情報保護に対して経営者自ら行動しているか	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 請負事業担当役員自らが推進している。 		0	0
	3	組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 正式な推進組織を制定してあるか ● 統率力を持つ者を任命してあるか 	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 管理責任者、事務局を設置している。 		0	0

■ 量販店

夏季キャンペーンDM 対象顧客1万人

■ 大手印刷所（と 送）

全面アウトソースで名簿受信
評価後、印刷業者A、B、Cに委託

評価概要

- ① 大手印刷所の委託先アセスメントでは、印刷業者Dの評価は他業者の半分以下
- ② 印刷業者A、B、Cは自己アセスでスコア275、325、300
印刷業者Dは自己アセスでスコア150

- 印刷業者A（受注）3,000通発送
- 印刷業者B（受注）4,000通発送
- 印刷業者C（受注）3,000通発送
- 印刷業者D（保留）

- タイプCの企業は、自ら評価値を算出し、自己管理しながらセキュリティ対策強化が可能。強化の具体策と、その優先度についてシートからヒントを得ることが可能
- タイプA、Bに関しては、各業界ガイドラインの強化が未だ続いているため、参画ベンダ及びそのグループ内でナビゲータとしてお客様向けに実適用し、その結果のフィードバックを継続する予定

JEITA

社団法人 電子情報技術産業協会